

① 学習指導案

プログラム	No.1 1 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全70時間)	桜ものがたり
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく。 ○自分の暮らす地域と、訪れた場所の地域・自然・景観との違いを知る。 ○自分のまち（地域）のよさについて、友達の考え方や見方に違いがあることを知る。 ○情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を経験する。 ○まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校のグラウンドに様々な種類の桜があることを知り、桜への関心を高める。 2 地域の桜の名所を訪れ、老木化した桜の今後について考える。 3 老木化した桜についてまとめ、市に桜を守るための提案を行う。 4 美しい桜が咲く地域を守るために、桜の魅力についてまとめたリーフレットを作成し、地域の人と共に守れるよう発信する。 5 桜を活用した「10歳の節目を祝う会」を開き、日本文化に親しむ。
参考資料 準備品 実施場所等	塩、梅酢、手袋、メジャー、リーフレット用紙、地域地図、記録用紙 教室、特別活動室、校区内の桜の名所（鳥屋野潟、栗の木川）、近隣地域の桜の名所（鳥屋野潟公園）

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1～6	○校地内の様々な種類の桜を観察し、桜の塩漬けを作ったり、複数種類の桜を植えた当時を知る方から話を聞いたりすることで桜への関心を高めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の種類が複数あることを知っている子どもに「食べられる」という新事実を伝え、桜の塩漬け作りをしたり、桜を調べたりすることへの意欲を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校地内の様々な種類の桜の比較から、地域にたくさんある桜について関心を高めている。
7～19	○校区内の鳥屋野潟の桜を観察し、歴史について情報を収集し、まとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内にある鳥屋野潟が桜の名所であることを伝え、見学に行く意欲を高める。 ・鳥屋野潟の桜が老木化していることを観察で感じ、ゲストティーチャーから話を聞く場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜が日本において大切にされている花であることや、護岸や祝いのために使われることなど、日本中から大切にされている木であることを理解している。
20～35	○自分の考えた提案を行い、桜を守る活動を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・市の鳥屋野潟の担当者の方との出会いの場を設定し、子どもが「桜を守るために市で行ってほしい方策」を提案できるようにする。 ・子どもが自分でもできる活動を考えられるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋野潟の桜を守るために、歴史や現地の様子、住民の思い等を関連付けながら、方策を考えている。
36～	○桜を守るために、地域へ桜を	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットに活動してきた内容を 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の良さや桜の名所の在

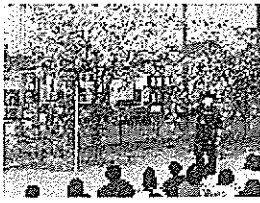


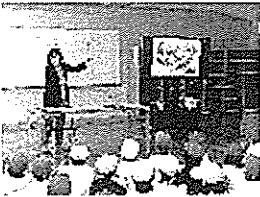

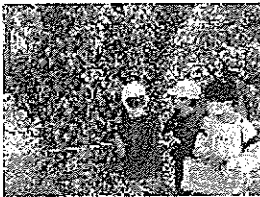
50	紹介したり、桜を守るよう呼びかけたりすることができる。	入れ、桜を守るよさを地域住民に伝える。	り方を考え、地域全体で桜を守り続けるための方策を考えている。
51～ 70	○桜の良さをまとめ、広めたり、桜を使ってお祝いしたりしようとする事ができる。 ・桜が地域にあることのよさについてまとめ、家族に発表する。 ・桜の食べ物、桜の染め物を作る。	・10歳の節目を祝う会「ととせの祝い」の場を設ける。 ・日本では桜がお祝いの席で活用されていることと関連付けて、桜茶などを家族に振る舞ったり、桜の染め物を身に付けてお祝いの会に参加したりするようにする。	・桜の良さを広めるための活動をしようとしている。 ・お祝いの席で桜を活用しようとしている。

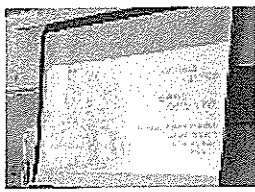
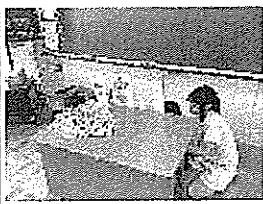



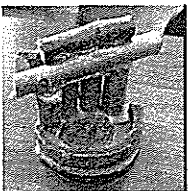

<留意点>






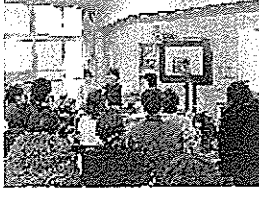
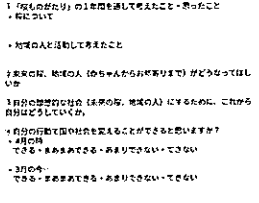
- ・年中行事に用いられる「桜」の文化的価値に触れることで、日本文化に親しんだり、これまで以上に桜への愛着をもったりできるようにしたい。そのために、学校の桜や地域の桜を活用し、子どもの知らない新事実と出あわせたりして、歴史的な側面や文化的側面への関心が高まるようにしていきたい。
- ・「桜」と聞くと、春を連想するが、春だけでなく、年間を通して桜への関心が高められるようにする。身近な桜にどっぷりと浸ることで、桜の微妙な変化に気付いたり、季節ごとの桜の活用を考えたりする場を設けたい。そうして、子ども自身が桜の新事実を見つけ、年間を通して桜への関心が高められるようにしていきたい。

② 事業実施報告書詳細

学校名 新潟市立桜が丘小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	グラウンド	・複数の種類の桜が植えてあるところで、食べられる桜が植えてあることを知っていたかを確認した。多くの子どもが知らず、「桜が丘小学校に通っていてあまり桜のことを知らなかった」という事実から桜について調べるという課題を設定した。		・桜を食べてみたい。 ・なぜ「桜が丘」と呼ぶのか知りたい。予想は、桜がたくさんあるからだと思う。
3	学校	・桜の塩漬けを作るために、八重桜の「関山」を摘み、ボランティアの方に協力してもらい、桜の塩漬けの作り方を教えてもらいながら作った。		・梅酢に漬けると、ピンク色が一層濃くなってきれい。 ・やっぱり、たくさんの桜があるから「桜が丘」なのだと思う。
2	学校	・グラウンドに複数種類の桜を植えた当時のことを知る地域の方をゲストティーチャーとして招き、学校の桜のことを聞いたり、「桜が丘」の名前の由来を質問したりした。	 	・「桜が丘」という地名が先に付けられ、その後に桜が増やされたことに驚いた。 ・桜について、もっと調べたい。
2	学校	・桜について本やインターネットで調べ、桜が日本に入ってきた歴史や人工的に種類が増やされてきたことなどをまとめた。		・桜が1300年も前から日本にあったことに驚いた。 ・桜の種類を増やしたのは、日本中に桜の美しさを知ってほしいからではないか。種類での違いを知りたい。 ・幹の太さや色、咲く時期などが違うと思った。 ・太さは、年を取ると太くなる。もっと年を取るとどのくらい太くなるのか。
2	学校	・種類ごとに違いがあるかをグラウンドの桜で確かめた。 ・地域にはもっと古くから植えられている桜があり、桜の名所となっていることを伝え、見学への意欲を高めた。		
2	地域	・校区内の鳥屋野潟の桜を見学した。幹が太いことに驚く一方で、枝が折れていたり、幹が裂けていたりしていることに気付いた。		・「何でこんなにボロボロなのか」という、疑問を抱いた。 ・鳥屋野潟の桜に詳しい方に聞いてみたい。

1	学校	<ul style="list-style-type: none"> 鳥屋野潟の桜に詳しい方に来校していただき鳥屋野潟の桜の歴史についての話を聞き、桜が老木化していることや、木を植え替える計画があることを知った。 		<ul style="list-style-type: none"> 寿命を超えても生きている桜がすごい。 植え替える木が決まっていないみたいだけど、また桜を植えてほしい。 県や市の方に、また桜を植えてもらえるようお願いしたい。
6	学校	<ul style="list-style-type: none"> 市の鳥屋野潟の担当者に植え替える木も桜にするようお願いしたいと考えた子どもは、桜のよさやよくないところと改善点を伝えるとよいと考え、これまで調べてきたことをまとめた。 		<ul style="list-style-type: none"> よくないところも伝え、さらに改善点を伝えることで桜を選んでもらいやすくなるだろう。
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> 市の担当者から来校してもらい、子どもが桜についてプレゼンした。プレゼンを受けて、市の担当者から今後考えてほしいことを教えてもらった。 		<ul style="list-style-type: none"> 桜のよさが伝わって良かった。地域の人の声を聞いていなかったの、地域の人にアンケートを採ったり、他地域の取組を調べたりしたい。
6	学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民へ桜に関するアンケートを採り、アンケートを基に桜を守る呼びかけをするための新聞を作った。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の方は桜が好きなのに守ったことがないから、自分たちが守り方を考えて地域の方に知らせ、一緒に桜を守っていきたい。
5	学校	<ul style="list-style-type: none"> 桜を守る活動として自分たちにできることを考え、樹木医に来校してもらいアドバイスをしてもらった。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分たちにできることを行い、地域の方にも桜を守る活動をしてほしい。
4	地域	<ul style="list-style-type: none"> 校区内の鳥屋野潟へ行き、自分たちが考えた桜を守る活動（草取り、ゴミ拾い、落ち葉拾い）を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 桜が元気になった。地域の方と一緒にやりたい。
3	学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と共にできる桜を守る活動を考え、チラシを作成した。 		<ul style="list-style-type: none"> 何を、どのように伝えたら地域の方がたくさん参加してくれるかな。
5	学校	<ul style="list-style-type: none"> 桜を守る活動に参加してくれた地域の方に渡すプレゼントを桜の枝を活用して作った。 		<ul style="list-style-type: none"> 桜の工作をもらって、桜を守る活動を続けたり、広めたりしてくれると嬉しい。
4	地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と共に校区内の鳥屋野潟と公園の桜を守る活動（草取り、ゴミ拾い、落ち葉拾 		<ul style="list-style-type: none"> 活動に参加して、これからも桜を守ってほしい。参加者が思ったより少なかった

7	学校	<p>い、木の観察、木の根元の土を柔らかくする)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜を守る活動を広めるためのリーフレットを作り、地域のお店や中学校等へ配りに行った。 		<p>から、桜を守る活動をもっと宣伝したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの地域の方に桜を守る活動をしてほしい。
6	学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方にもっと桜のよさを知ってもらったり、桜を守ったりしてほしいと考え、「桜まつり」を開催する計画を立て、出店の準備を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の方を楽しませることで、地域の方にもっと桜を知ってほしい。桜を守る活動をもっとやってほしい。
2	学校	<ul style="list-style-type: none"> 桜の枝を使って布を染めて、「桜まつり」で身に着けたいと考え、ゲストティーチャーを招いて染め物をした。 		<ul style="list-style-type: none"> 桜できれいな染め物もすることができて、人の心を癒す。
2	学校	<ul style="list-style-type: none"> 「桜まつり」に地域の方を招き、自分たちで作った歌を披露したり、出店（桜の枝で工作をするなど、桜に関する店）を18店出したりした。 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の方が楽しんでくれてよかった。桜を守ってくれと言ってくれていて安心した。
3	学校	<ul style="list-style-type: none"> 10歳を祝う会「ととせの祝い」を行う計画を立てた。保護者を呼ぶことや一緒にゲームをしたり、桜の塩漬け入り蒸しパンと桜湯を喫食したりして祝うことにした。 		<ul style="list-style-type: none"> 桜はお祝いの席で使われる花なので、10歳の節目を祝う会で使いたい。 家の方が支えてくれて成長してきたので、家の人を呼んで感謝を伝えたい。 家の方が喜んでくれてよかった。
2	学校	<ul style="list-style-type: none"> 桜の塩漬けを入れた蒸しパンと桜湯作り、保護者を招き、「ととせの祝い」を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習を通して、桜は「人と人をつなげてくれるもの」だと考えた。 地域に生きる一人として、今後も桜を守る活動を続けたいという思いをもった。
1	学校	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の活動の振り返りを行い、自分たちにとっての桜の価値やこれからの桜との関わりについてまとめた。 	 <p>「桜ものがたり」の1年間を通して考えたこと・思ったことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の人と活動して考えたこと 家や学校、地域の人（ゆめからのお祭りまで）がどうやって協力しているか 自分の学習や社会（学校の外、地域の人）に対するために、これから自分はどうしていくか 自分の活動で国や社会を築くことができると思いますか？ 4月の時 できる・あああめである・あまりでない・できない 3月の時 できる・あああめである・あまりでない・できない 	

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・子どもの興味関心の高まることから新事実に出あわせることで、桜の花が散っても桜への関心が高いまま探究していけるように単元をデザインした。
- ・校名とかけ合わせることで、子どもの意欲を高めた。
- ・iPadを活用し、写真で記録を残しておくことで、春しか咲かない桜をいつでも再現できるようにした。
- ・子どもの振り返りを基に、子どもの意識がどこを向いているのかを確認しながら、ゲストティーチャーを探したり、地域の方に協力をお願いしたりした。
- ・桜に関する多くの方と出会うことで、人とのつながりの大切さを認識できるように単元をデザインした。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・歴史的側面は4年生の子どもにとって理解しづらい概念である。そのため、子どもでも知っている武将や時代劇の話を入れながら、昔より続いていることの理解を図った。
- ・自然物を扱うため、時季や天候に左右されることがあり、iPadを有効に活用する必要を感じた。
- ・地域の方を巻き込む際には、回覧板で知らせる必要があり、時間がかかった。計画が曖昧な状態で案内を出したりしなければならなかった。

(3) 児童の反応

- ・桜の木に多くふれたり、現地に行ったりすることで、実感を伴って課題意識をもつことができた。
- ・子どもが知らない新事実と出あったときに、「調べたい」という思いをもって追究していた。
- ・桜をもっと好きになった。
- ・人と人がつながることで、桜が守られたり、大きなことを成し遂げられたりすることを実感した。
- ・自分たちの力でも、社会を変えられると実感してきた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・子どもの思いに寄り添いながら進めることで子どもが「自分事」として活動することが分かった。
- ・多くの方と関わることの大切さが分かった。
- ・地域の方は小学生との関わりを大切にしてくれていることが分かった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・鳥屋野潟が広いので、校区内の鳥屋野潟と校区外の鳥屋野潟の比較を取り入れたり、鳥屋野潟と市内の別の水辺の桜との比較をしたりするなど、他地域との比較を入れることで、本活動を持続可能な活動にしていきたい。
- ・桜を守る活動や桜まつりに地域住民をもっと巻き込み、地域をさらに盛り上げていきたい。